

「総合計画審議会」（平成28年11月29日）における委員意見への対応内容

番号	委員名 (御発言順)	意見・提言の内容	改善見直 (案) 番号	総合計画 (冊子) ページ	対応内容（今後の方針等）	部局
1	唐崎委員	<p>【文化発信について】</p> <p>2020年東京オリ・パラに向けて、徳島からの文化発信等について考え直す良い機会である。4大モチーフ含めて、県内各地の農村舞台がたくさん残っているのので、そこに食や人であったり仕事・歴史というものも含めて物語を作っていくながら発信していくことがよいのではないか。</p>	—	210	<p>本県では、二度の国民文化祭の開催を通じ、阿波藍、阿波人形浄瑠璃、阿波おどり、ベートーヴェン第九の4大モチーフを磨き上げてきたところであり、さらには、地域文化資源など本県の強みを活かした取組みや新たな文化芸術を創造する取組みを積極的に展開して参りたい。</p>	県民
2	綿谷委員	<p>【徳島ブランドの発信について】</p> <p>外国に向け、徳島のブランドは世界一であるというような取組みを推進して欲しい。</p>	—	107	<p>平成28年2月に改定した「とくしま農林水産物等海外輸出戦略」に基づき、「農畜水産物等輸出サポートセンター」を中心に、輸出に取り組む生産者等への実践的な支援を進め、世界にはばたく「とくしまブランドの確立」を目指して参ります。</p>	農林
3	綿谷委員	<p>【次世代へ繋ぐ豊かな環境づくりについて】</p> <p>環境リーダーの育成や学校教育等にしっかり取組み、ぜひ次世代の子ども達に素晴らしい自然を残して欲しい。</p>	—	149	<p>環境に関する高い意識と行動規範・実践力を持つ人材を養成するため、「環境首都とくしま・未来創造憲章」の普及啓発等を目的とした各種講座を実施するとともに、「環境首都とくしま・未来創造憲章」に新たに加えた「キッズバージョン」を環境学習に積極的に活用し、子どもたちからの環境問題に対する関心を高める取組みを推進しているところである。</p> <p>さらに、現在、今春オープン予定の「環境活動連携拠点」（以下、「新・エコみらいとくしま」という。）を気候変動対策の最前線基地と位置づけ整備している。この「新・エコみらいとくしま」において、未来を担う世代に向けた新たな環境教育・環境学習の展開を積極的に図って参りたい。</p>	県民

番号	委員名 (御発言順)	意見・提言の内容	改善見直 (案) 番号	総合計画 (冊子) ページ	対応内容（今後の方針等）	部局
4	米澤委員	【多言語対応について】 徳島県内は多言語対応があまり進んでいないように感じる。例えば、阿波おどり会館等でも英語のアナウンスを導入してはどうか。	605	204	増加する外国人旅行者への言語面での対応のため、県では、ホテルや旅館等の施設の多言語表記に対する補助を行うとともに、ボランティアによる善意通訳組織（徳島GGクラブ）を立ち上げ、当面は県が事務局を担い、活動を支援しているところ。 阿波おどり会館での英語のアナウンスについては、公演時間等の課題もあると思われませんが、来場者を含めた外国人旅行者の皆様に本県での観光をより楽しんでいただけるよう、関係機関とも連携の上、言語面での支援に取り組んで参ります。	商工
5	米澤委員	【テレワークの推進について】 徳島の企業へテレワークを浸透させていくためにも、徳島モデルを作成し、先進的に取り組んでいくべきではないか。	71	85	「テレワークセンター」を設置し、テレワーク実証の場の提供、他の団体と連携、テレワークコーディネーターの養成による企業への訪問からの導入促進等、徳島ならではの取組みを図っているところ。今後とも、県内企業にテレワークがさらに浸透していくよう、関係機関と連携を図りながら取り組んで参ります。	商工
6	日下委員	【引きこもり対策と若者の県内就職促進について】 引きこもり対策と若者の県内就職促進は、両方がかみ合っていく必要があり、引き続き推進していくべきである。	76	86 180	（保健） 精神保健福祉センターでは、ひきこもり地域支援センターにおいて当事者や家族等への相談支援を行うとともに、ひきこもり状態の改善等目的達成により次のステップに向けて支援が必要な方には、適切な支援機関を紹介し連携して支援を行っているところである。 引き続き、ひきこもり地域支援センターを核として地域の支援体制の充実を図り、本人の自立を支援するとともに、本人及び家族の福祉の増進に努めて参りたい。 （商工） 若年無業者（ニート）等の職業的自立支援に向け、「徳島県若年者すだち（巣立ち）支援ネットワーク運営協議会」を設置し、取り組んでおります。今後とも、地域若者サポートステーションにおいて、引きこもり支援機関やハローワーク等の関係機関との連携を図りながら、支援して参ります。	保健 商工

番号	委員名 (御発言順)	意見・提言の内容	改善見直 (案) 番号	総合計画 (冊子) ページ	対応内容（今後の方針等）	部局
7	日下委員	【世界遺産登録への挑戦について】 四国八十八箇所霊場と遍路道の世界遺産登録について、引き続き取り組んで欲しい。	—	216	「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録については、四国4県の産学民官が一体となり、様々な取組を進めてきたところ。本県においても、昨年11月には、世界遺産登録に向けた取組みの中では四国初となる札所寺院の国史跡指定に向けた答申がなされたほか、遍路道についても、10kmを超えて「国史跡」史跡指定されているなど、課題の一つである「資産の保護措置」を着実に進めており、今後とも、四国4県の関係機関が一丸となり、しっかりと取り組んで参りたい。	政策
8	齒朶山委員	【保育士の労働条件の改善及び活用等について】 保育士の労働条件の改善と潜在している保育士を有効に活用していくような取組みが必要ではないか。 また、保育は託児ではなく教育であるという考え方をもっと浸透させるべきではないか。	—	—	保育士の労働条件の改善については、県では保育士の更なる処遇改善等について国に対して政策提言を実施してきており、国においても順次保育士の給与の改善を進めている（国の平成29年度当初予算でも2%の処遇改善や保育士としての技能・経験を積んだ職員への月額4万円の追加的な処遇改善等が行われる。）。 また、潜在保育士の活用については、徳島県社会福祉協議会に委託し「保育士・保育所支援センター」において「潜在保育士研修」や「就職あっせん・就職相談」などの取組みを行うほか、今年度は新規事業として保育所での勤務が決定した潜在保育士への就職準備金の貸付制度を創設している。 保育の内容については、国が策定した各保育所が拠るべき保育の基本的事項を定める「保育所保育指針」を踏まえ、各保育所においてそれぞれの実情に応じて創意工夫を図りながら、取組みが進められるよう、研修などを通じて周知して参りたい。	県民
9	齒朶山委員	【多言語対応について】 多言語対応について、取組みを推進すべきではないか。	605	204	増加する外国人旅行者への言語面での対応のため、県では、ホテルや旅館等の施設の多言語表記に対する補助を行うとともに、ボランティアによる善意通訳組織（徳島GGクラブ）を立ち上げ、当面は県が事務局を担い、活動を支援しているところです。今後とも、本県を訪れた外国人旅行者の皆様により快適に過ごしていただけるよう、また、県内の宿泊施設や観光施設等においてトラブルなく外国人旅行者の皆様へのおもてなしを進められるよう、言語面での支援に取り組んで参ります。	商工

番号	委員名 (御発言順)	意見・提言の内容	改善見直 (案) 番号	総合計画 (冊子) ページ	対応内容（今後の方針等）	部局
10	高橋委員	【世界で活躍する人材の育成について】 海外で様々な経験をすること、社会で活躍する上で重要なことであり、留学の支援等の取組をさらに推進していくべきではないか。	—	83 187	県では、これまでも県内高等教育機関の学生の留学支援を実施しており、取組内容の広報として、「徳島ビジネスチャレンジメッセ」における報告会やブース出展による留学経験の発表、関係団体の機関誌への事業報告掲載などを行っているところ。今後とも、高等教育機関や経済関係団体、県内企業との連携のもと、事業のさらなる周知を図ることで、学生の海外留学への関心を高め、留学の支援に取り組んで参ります。	商工
11	高橋委員	【スポーツの推進について】 世界で活躍できるスポーツ選手の育成が必要ではないか。	—	214	<p><県民> 本県では、世界で活躍できるスポーツ選手の育成を目指した「オリンピック・パラリンピック選手輩出プロジェクト」により、有望な選手に育成費を支援する①「目指せ！オリンピック・選手育成事業」、②「目指せ！パラリンピック・選手育成等支援事業」、オリンピック選手から直接指導を受ける機会を創出する③「目指せ！オリンピック・夢はぐくみ事業」、合宿・遠征費を助成する④「目指せ！オリンピック・チャレンジ事業」、医科学サポートに対して助成する⑤「目指せ！オリンピック・サポート事業」を実施し、育成を図っている。</p> <p><教育> 将来、オリンピック等の国際大会で活躍できる選手を育成するため、小・中・高それぞれの段階に応じて、有望選手の発掘・育成・強化を図るなど、競技力向上のための取組を推進して参りたい。</p>	県民教育
12	高橋委員	【文化施設について】 若者が文化に触れる機会を提供することは重要であると考えており、文化施設の整備については、県も市町村と協力して取り組んでいただきたい。	—	211	次世代の文化を担う「後継者育成」は、大変重要であり、まずは文化に触れ興味を持っていただく必要があると考え、取組を進めてきたところ。今後とも次代を担う若者をターゲットとした取組を展開するとともに、市町村や文化団体等と連携して後継者育成に取り組んで参ります。	県民

番号	委員名 (御発言順)	意見・提言の内容	改善見直 (案) 番号	総合計画 (冊子) ページ	対応内容（今後の方針等）	部局
13	大森委員	【消費者教育の推進について】 成年年齢の引き下げも議論されている中で、若者への消費者教育が重要ではないか。 また、悪質な業者への取締りも強化して欲しい。	新規 (P57)	140	<p><危機、教育> 若年層対象の消費者教育については、大学や高校等と連携した出前講座（昨年度、延べ63回、約5,200人を対象に実施）、小・中学校向けの教材の作成・普及などの取組みを行っているほか、研究実践校を指定し、幼稚園から高等学校まで系統的に消費者教育を推進しているところ。また、現在、消費者庁が作成を進めている若年者の消費者教育教材を使って、消費者庁との連携により高校での消費者教育プロジェクトを計画しており、成年年齢の引き下げの議論を注視しつつ、引き続き若者への消費者教育を充実させ、「自立した消費者」の育成を進めて参りたい。</p> <p><危機> 消費者から相談のあった事例については、特定商取引に関する法律に違反する事実の確認を行い、悪質な場合は、事業者に対し一定期間の業務停止処分を行うなど厳しく対処しているところ。今後とも悪質事業者の動きには十分注意を払っていく。</p>	危機教育
14	中副会長	【子育てをしている親への教育について】 国内でも幼児虐待等の事件が報道されているが、子育てをしている親への教育も重要ではないか。	—	—	<p>児童虐待の未然防止に向け、産前・産後の心身の不調や子育てに関する悩みを抱える子育て家庭への支援が必要であると考えている。県では、助産師による産前・産後の母親相談の実施や、子育て法や仲間づくりの講座を開催している。 引き続き、こうした取組みを通じて子育ての孤立感や不安解消を図り、児童虐待予防に努めて参りたい。</p>	県民
15	金副会長	【CCRCの推進について】 高齢者が住みやすい町づくりが重要ではないか。 CCRCを推進していくためにも、その基盤を作っておく必要があり、徳島県のあり方についても真剣に考えていくべきではないか。	—	—	<p>「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想の趣旨は、移住者はもとより、地域の誰もが自らの希望に基づき、安心して充実した生活を送ることができる「まちづくり」を進めることと考えている。 このため、各市町村においては、地域住民が主体となって既存資源や地域特性を活かしながら、地域の課題解決に繋がる、受け入れ環境の整備を進めていただきたいと考えており、県としても各地域の取組みを積極的に支援して参りたい。</p>	保健

番号	委員名 (御発言順)	意見・提言の内容	改善見直 (案) 番号	総合計画 (冊子) ページ	対応内容（今後の方針等）	部局
16	金副会長	<p>【防災教育について】</p> <p>家具の転倒防止や耐震化といった実際的なことを地域の隅々まで行き渡らせるような防災教育の展開が必要。また、災害は避けられないが被害を最小限に留めることはできるので、県政の中に防災教育をしっかりと位置づけるべき。</p>	—	118 119	<p>(危機)</p> <p>家具の固定や耐震化などについては、県職員が「とくしまゼロ作戦防災出前講座」で各地域に出向いて普及・啓発しているほか、防災士の有志による「防災啓発サポーター」が県立防災センターで来場者に解説をしているところ。また、昨年からは、県が推進する「毎月一点検運動」の月別テーマにも入れており、今後ともこうした取組みを通じた防災知識・技術の普及・啓発に努めていく。</p> <p>(危機、教育)</p> <p>防災教育については、全ての県民を対象とした「徳島教育大綱（H27.12）」において「災害を迎え撃つ防災教育の推進」が位置づけられており、「防災知識の普及・啓発等の推進」、「学校を核とした地域防災力の向上」及び「地域防災を担う人材の育成」などを徳島ならではの教育として推進していくこととしている。</p>	危機
17	中村委員	<p>【保育サービスについて】</p> <p>県と市町村が共に力を合わせて、保育サービスの向上・効率性を重視した取組みを推進すべきではないか。</p>	—	—	<p>県と市町村が力を合わせて保育サービスの向上等の取組を推進することは重要なことと考えている。</p> <p>県においては、平素より市町村への情報提供などの支援、相談等への対応を行うとともに、適宜、国の制度改正についての説明会を開催するなどしており、保育サービスの向上等に向けて、今後とも、市町村との意思の疎通を図り、協力しながら取り組んで参りたい。</p>	県民
18	中村委員	<p>【保育士の人材確保について】</p> <p>潜在保育士への対策について県の取組みも進んでいるところであるが、労働環境が悪い保育園についての指導をしていただきたい。また、男性保育士の人数も増えてきているが、さらなる男性の保育士確保のため、検討が必要ではないか。</p>	—	—	<p>保育所等については、県又は市町村が毎年度定期的に立入調査を行っており、その中で労働環境についても確認等を行い、必要に応じて指導を行っている。</p> <p>保育士の確保については、大変重要な課題と認識しており、その処遇改善について国に政策提言を行っているところであり、男性保育士の確保についても、保育所等における職場環境の改善のための設備補助を通して取り組んで参りたい。</p>	県民

番号	委員名 (御発言順)	意見・提言の内容	改善見直 (案) 番号	総合計画 (冊子) ページ	対応内容（今後の方針等）	部局
19	住友委員	【内外における交流人口の増加について】 交流人口の増加が全てに通じるものであると考えており、現在は消費者庁の誘致を始め徳島県の歴史上においても重要な局面であると思われ、ドキュメンタリーを製作するなど、今後、情報発信に努めていくべきである。	—	216	本県では、東京にはない価値観を全国に発信すべく、「vs東京」との共通コンセプトを打ち出しており、その情報発信の場として、平成27年度より開催する「徳島国際短編映画祭」をはじめとして、県民の機運醸成と、県外へのPRに向けて、県及び市町村における地方創生の実践を発信するため、引き続き積極的に映像を活用していく。	政策
20	近森委員	【県政への若者の意見の反映について】 若者の意見が県政に反映できるような取組みがあればよいと考える。	586	199	＜県民＞ 県においては、審議会等における委員への若者の登用を進めており、若年者委員(40歳未満)の割合を「10%以上」に目標を上方修正したところ。引き続き、若者の政策・方針決定過程への参画を促進していく。 ＜政策＞ 若者の既成概念にとらわれない柔軟な発想を県政運営に積極的に取り入れるべく、総合計画審議会若者クリエイティブ部会を平成24年に設置しているところ。今後とも種々の課題に対して、若者クリエイティブ部会から御意見や御提言をいただきたいと考えている。	政策 県民
21	松崎委員	【子育て支援者への支援について】 南部・西部地域においても、子育て支援者に対する支援を行う拠点等を設けてはどうか。	—	—	平成18年に子育て総合支援センター「みらい」を開設し、「子育て支援者に対する支援」を行う拠点として、子育て支援者団体の育成に努めてきたところである。 今後委員ご提案も含め、どのような対応ができるか検討して参りたい。	県民
22	松崎委員	【保育士の待遇改善について】 保育士の質の向上と賃金の問題について、徳島県でも早急に取組むべきではないか。	—	—	保育士の質の向上と賃金の問題については重要であると認識しており、県では、保育士の資質の向上のため、現任保育士を対象に経験年数などに応じた階層別の研修を実施するなどの取組を行っている。 また、保育士の賃金の問題については、保育士の更なる処遇改善等について国に対して政策提言を実施してきており、国においても順次保育士の給与の改善を進めている(国の平成29年度当初予算でも2%の処遇改善や保育士としての技能・経験を積んだ職員への月額4万円の追加的な処遇改善等が行われる。)	県民